

○豊岡市公共施設再編計画（案）を別添のとおりまとめましたので、送付いたします。

5月に開催された行政改革委員会の意見等により修正した箇所、内容は以下のとおりです。

今後とも、ご意見等よろしくお願ひいたします。

なお、市広報7月号と一緒に全世帯へ配布します「市民説明会の案内等を記載したチラシ」を参考まで送付いたします。

豊岡市政策調整部財政課

行革委員会からの意見等	修正ページ	施設区分等	修正内容
今ある施設を使って収益を上げることを考えるべきである。	4	基本方針に定めた事項について	公共施設マネジメント基本方針に記載している事項を再掲します。 内容は4P(2)のとおりです。
指定管理について、民間の方がずっといい場合がある。 民間の力をもっと活用すべきである。 また、削減も大事だが収入も大切。 民間という言葉が入るよう考えられたい。	4	基本方針に定めた事項について	公共施設マネジメント基本方針に記載している事項を再掲します。 内容は4P(3)のとおりです。
老朽化が著しく施設や耐震化未実施の施設など、使用不能となった時点で廃止等としているが、それでよいか。	38、46	福祉施設 スポーツ施設	本当に使用できなくなってからでは遅いので、早めに見直すこととして、「使用不能と判断した時点で」と修正します。
雇用の創出は、民営化で更なる期待ができるのでは。 大規模な改修を市が直接行って、それで採算が取れているだけである。	54、57、58、61	レクリエーション施設 温泉施設	住民参画による地域振興、過疎対策の一環という観点もあり第三セクターを設立した例もあります。 当初の目的を達成されたいので、そのような内容を記載します。 また、採算が取れているという表現も修正します。
金額の表示が必要であり、ないと判断できない。各施設を廃止したらいくらという金額が表示されるとありがたい。	資料ページ	資料 公共施設再編計画（案）に基づく更新費用の試算	計画（案）の末尾に、参考資料として公共施設再編計画（案）に基づく更新費用の試算を掲載することとしました。 これには、更新費用の試算と施設ごとの1年間の支出額を記載しています。

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

1 開催会場、参加者数等

月 日	開催時間	会 場	参加者数
7 / 27 (水)	19 : 30 ~ 20 : 35	「豊岡稽古堂」 交流室 3-1	13 人
7 / 28 (木)	19 : 30 ~ 20 : 35	竹野庁舎（竹野振興局） 大会議室	21 人
8 / 3 (水)	19 : 30 ~ 20 : 45	但東庁舎（但東振興局） 大会議室	23 人
8 / 4 (木)	19 : 30 ~ 20 : 55	日高農村環境改善センター 2階 8号	39 人
8 / 5 (金)	19 : 30 ~ 20 : 55	出石庁舎（出石振興局） 大会議室	22 人
8 / 9 (火)	19 : 30 ~ 20 : 45	城崎庁舎（城崎振興局） 大会議室	19 人

2 説明会の内容等

約 30 分程度再編計画（案）の概要、個別施設の方向性について、パワーポイントを用いて説明を行った。

その後、質疑応答、意見交換を行った。

各会場での発言要旨、回答要旨は次項以降のとおり

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 7 月 27 日（水） 19：30～20：35
- 2 場 所 豊岡稽古堂 交流室 3-1
- 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4 名
- 4 参加人数 13 人
- 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>コウノトリ文化館は入館料を取らず募金箱が設置されている。</p> <p>運営にお金がかかるのだから、100 円でも入館料を取ればよいと思う。</p>	<p>同館は、県営のコウノトリの野生復帰を推進する施設内にある施設であり、観光施設ではない。</p> <p>県有地を無償利用している状況などから、入館料は無料とし、環境協力を金をお願いしている。</p>
2	<p>合併前後に新しいものがたくさん建てられた。</p> <p>アンケート結果で人口、税収にみあった施設の質・量ということなので、使えなくなってから廃止するのではなくて、利用度の低い施設は早く廃止してしまえばいい。</p> <p>「あったらいい」というのが住民の大体の考えだ。必要な施設な利用率も高いはずだ。廃止してしまえば、維持経費はかからなくなる。</p>	<p>ご意見は参考にさせていただく。</p>
3	<p>（市営かどうかわからないが）じばさんセンターはあまり使われていないのでは。</p>	<p>市からの補助等も入っているが、一般財団法人但馬地域地場産業振興センターの所有である。</p> <p>現在、改修作業が進められており、リニューアルされる予定である。</p>
4	<p>使わない施設を廃止するのは簡単だが、高齢者で車の運転ができない人は遠くまで行けないので、一地区・地域に何か一つは施設を残してほしい。</p>	<p>機能と建物は分けて考えている。基本的に機能は残していきたいと考えている。</p>
5	<p>資料で、城崎国際アートセンターの利用者数、ホールの稼働率が記載されていないがどうなっているか。</p>	<p>資料の利用者数等のデータは平成 25 年度の数値である。その時点でアートセンターはオープンしていなかったため数値が入っていない。</p>
6	<p>資料の博物館・資料館の維持管理費は建物の経費だけか、それとも人件費も含まれているか。</p> <p>公共施設の再編により維持管理経費が削減されるが職員やその給与等はどれだけ削減されるか。</p> <p>財政的なことを言うのであれば収益が上がる施設か、費用ばかり多くかかる施設か、あるいは民間委託すると収益が上がるようになるかなどを検討し示すような資料を作りたい。</p>	<p>直営施設は、人件費も含んでいる。</p> <p>本日説明している再編計画（案）は、施設の更新費用がいくら必要かという観点で整理している。</p> <p>人件費を含めた削減額は試算していない。</p> <p>ご意見は参考とさせていただく。</p>

7	<p>高齢者福祉施設は、検討、譲渡・廃止となっている。介護保険でも要支援1、2が外されてきつつあるので、そういう人たちが利用するというような方向にならないか。</p>	<p>竹野老人福祉センターは、現時点では集会施設となっている。</p> <p>長寿園は高齢者の趣味やサークル活動の場が主な用途となっている。</p> <p>介護保険事業者は民間参入が進んでおり、市が直接事業をするより民間サービスを利用されたいと考えている。</p>
8	<p>長寿園は何を検討するのか。</p>	<p>用途転用や複合化などの検討を進める。</p>

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 7 月 28 日（木）19：30～20：35
 2 場 所 竹野庁舎 大会議室
 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4 名
 4 参加人数 21 人
 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	竹野老人福祉センターは、現在の機能が有効に使える間は、施設は使用できるか。	建物の安全性が確保されている間は基本的に使用できる。 新しいものに建て替えはしない。
2	竹野老人福祉センターは耐震化できているか。	昭和 60 年の建築で新耐震基準である。
3	竹野観光センターは豊岡市のものではなく、営利団体のものではないか。 指定管理はいつから実施されているか。 建設に観光協会会員の寄付が入っているのが営利団体のものと認識していた。 観光協会会員も市有と分かっているか。	建物自体は市の所有である。 平成 18 年から観光協会が指定管理者となっている。 合併前の竹野町では、施設の建設時に、地元から費用の一部を寄付していただいていた経過がある。
4	参加者が少なく、住民の意識が低い。アンケートのことやHPでの公表のことも知らなかった。 老人福祉センターは、浜地区の方々にとって非常に集まりやすい場所にある。 浜地区のほとんどの行事をこの施設で行っていて地元にとっては必要な施設ということを理解いただきたい。	ご意見は参考とさせていただきます。
5	竹野の浜地区は行政区ごとに集会施設を持っていない。老人福祉センターは、コミュニティ施設としての役割は果たしている。 現時点で廃止という考えが出されているが、質の高い利用があれば再検討ということはあるか。	建て替えるということは難しい。 市が、地域のための集会施設を建てるという考えはない。
6	本来施設は目的をもって建てられたものであるが、年月の経過で建設時とは違う目的となっているものも多々ある。 地域のコミュニティづくりで言えば、使用者が何人、利用料がいくらということではなく、地域のためにどれだけ役に立ったかということであり、金額・数字では把握できない。 そういうことに留意されながら、施設の方向性の検討を行って欲しい。	建物と機能は、分けて考えていただきたい。 一つの機能を一つの建物で持つべきか、他の建物に移転できないかということを考えており、基本的に建物と一緒に機能も無くしてしまうということはない。

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 3 日（水） 19：30～20：45
 2 場 所 但東庁舎 大会議室
 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4 名
 4 参加人数 23 人
 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>市営住宅を廃止するということは、そこに人はもう入って来なくていいということか。</p> <p>人を増やす努力をしているか、努力もせず流れに任せると廃れるばかりだ。</p> <p>自分たち住民も行う必要があるとも考えるが、もっともっと人口減少対策に力を入れて欲しい。</p>	<p>市営住宅が老朽化し、入居者も少ない状況であることから廃止の方向を示している。</p> <p>但東地域にとって人口問題は重要な課題で、お試し住宅の他、但東独自の人口減少対策も進めている。</p> <p>地方創生は人口減少対策であり、豊岡全体、各地域でも人口減少対策を最重要課題として取り組んでいる。</p> <p>但東地域では、中山向町住宅を市営住宅からお試し住宅に転用したほか、空き家調査も行っている。</p>
2	<p>・但東市民ホールについて、ホール機能の廃止とは、今ある機能をすべて取り外すなどして使えなくするということか。</p> <p>修繕などをせず使えるうちは使えるということか。</p> <p>・但東のこども園 3 園について統合とは、別の場所に 3 園統合して建てられるということか。</p>	<p>・移動式の椅子や音響設備など、使える間は使用するが、使えなくなったとき同じものを更新する考えはなく、その時は集会場への転用を考えている。</p> <p>・場所は未定である。</p>
3	<p>・モンゴル博物館がなくなったら、モンゴルとの交流はどうなるのか。シンボリックな施設がなくなったらどのようにやっていくのか。</p> <p>・入館者数の割りに収入が少ないように思うがどうか。</p>	<p>・モンゴルとの交流をやめるという考えは現時点ではない。例えば 2020 年のオリンピックに向けてモンゴルの選手団を誘致するよう進めている。</p> <p>・小中学生の無料の入館が相当数あるためである。</p>
4	<p>・平成 29 年度地域コミュニティが一斉にスタートする。少しでも夢を持とうという時に、壁が表れたという感じである。</p> <p>説明も状況もよく分かるし、人口減少と施設の経費が増加するという事もわかるが、これらに負けないよう力を合わせて頑張ろうとしているところである。</p> <p>はじめからあきらめてかかるのでどうかと思</p>	<p>・即時に施設を廃止解体するという計画ではないことは理解いただきたい。</p> <p>「基本方針」では、まちづくりの推進や地域活性化に資する施設は、方向性は示したものの、他方で機能の強化や地域の活性化がもっとできないかという視点から検討も行っていくこととしている。</p>

	<p>う。お試し住宅などで但東の魅力が分かり、人が入ってくるという自信もある。</p> <p>あまり早くから解体と言わないで欲しい。夢を持たせて欲しい。</p> <p>・資母放課後児童クラブが資母体育館に移設となるということだが、父兄と協議等は行ったか。</p> <p>移設が決定する前に、意見交換等行われるのが望ましいと考える。</p>	<p>・資母放課後児童クラブは資母体育館に移設するよう予算措置し、準備作業が進められていると聞いている。</p>
5	<p>「お試し住宅」の入居期間は2年でその期間で引き続き住むかどうか決めなければならない。大変な決断であり、決められない時は、正規の市営住宅の家賃を支払うことで、そのまま住み続けることはできないか。</p>	<p>「お試し」のため、多数の利用を考えて期間設定し2年としている。</p> <p>前例として、近隣の市営住宅が空いていて、移っていただいたケースはある。</p> <p>今年度新設した中山の移住促進住宅はそのような例も勘案し、10年間としている。</p> <p>条件が整えば期間延長することも可能とされている。</p>

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 4 日（木） 19：30～20：55
 2 場 所 日高農村環境改善センター 2階 8号
 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4名
 4 参加人数 39人
 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>再編は必要と考える。また、将来に必要なサービスは維持向上が必要と考える。ハコモノを作りすぎた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会施設の譲渡で条件が整い次第の「条件」とはどういうことか。 ・具体的に、羽尻活性化センターはいつ譲渡となるか。 ・中学校の再編で、日高東中と西中が一つになるのはいつごろか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設は国からの補助金を活用して建てているため、用途変更、譲渡等に制約がある。その制約がなくなるのが条件である。 ・羽尻活性化センターは平成9年建設の木造建で、耐用年数は24年。平成33年頃の譲渡と考えている。 ・中学校の再編は、学校整備計画ではいつ行うと明記されていない。同計画では、「下限の目安に達し、かつ、その後もその状態が継続すると予測される学校の施設整備は、原則として大規模改造、長寿命化改修、改築などの大規模な施設整備は実施せず、安全安心な教育環境にする」とされている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・6団体が合併したので施設が多いのは当然で、統廃合は必要と考える。その際には、一極集中にならないよう配慮されたい。 ・公共施設マネジメントの三原則として、①総量縮減②長寿命化③効率的な維持管理・運営を掲げている。再編計画（案）は③の管理運営の部分についての視点が弱いと感じた。 ・温泉施設などは、収益性が求められる施設であるため、民間事業者が行うことが一般的であるが、雇用対策や住民の参画による地域振興、過疎対策の一環として取り組んでいる、となっているが、具体的にどんなことを考えて実施されていてどんな効果があったか説明されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘は大切な視点と考えている。 ・現在の案では、協働による運営、民間委託の検討などの記載にとどまっているため、加筆等については持ち帰り検討したい。 存続施設は、事後保全から予防保全へと方向づけることも必要と考えている。 ・雇用対策は、民間委託する場合に採用条件を付するなど色々な方法が想定される。 民間委託する際は、設定した条件等がきちんと反映されるよう進めたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・再編計画（案）に植村直己スポーツ公園が入っていないがどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編計画（案）は、建物を対象としている。野球場・グラウンドなど面的施設は、対象外であるため記述されて

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度の評価について、再編計画（案）中に記載すべきである。 ・ 施設サービスの水準を維持するため施設保有量の最適化を図るとあるが、市が考える施設サービスの適切な水準とはどのようなものか。 ・ 施設の大小があろうが、スポーツ施設はすべて一緒に扱うべきでは。 ・ 施設サービスの水準として快適・安全性を上げられたが、これは誰が評価することになるのか。 	<p>いない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再編計画は運営形態に関する評価を行う計画ではなく、施設を将来どうするかという計画である。 指定管理者制度については、別途、指定管理者事業報告書の提出受け、評価を行っている。 指定管理者の自己評価と所管課の評価を昨年度からホームページで公表も行っているのでもそちらを参照されたい。 ・ 安全に安心して、楽しく、快適に使い、市民に真に必要とされるされる施設が適切に利用されている状況を想定している。 それぞれで違い、時代によっても違うものと考える。 ・ 小規模な管理棟などは面積要件により、計画の対象としていないもので、施設の重要度で分けしているものではない。 野球場や陸上競技場等は、別途、検討が必要と考えている。 ・ 市民がどのようなサービスを求めているか、判断し、適切なサービスを提供し、施設を維持するという事と考える。
4	<p>指定管理者制度の評価については、自己評価、所管課評価に加え利用者による評価が不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レクリエーション施設と温泉施設のうち、指定管理者制度を採用している施設数は何施設か。また、そのうち非公募施設は何施設か。 ・ これらの施設は、すべて非公募ということだが、A非公募とする理由、Bその団体名、Cその団体の従業員の採用・構成状況、人数（①初任者採用②中途採用③退職者採用）について知りたい。 ・ 難しいことを言っているのではなく、一番知りたいことは、指定管理者を非公募で選定するとい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合計 17 施設で、指定管理施設が 11 施設、そのすべてが非公募による選定である。 ・ ご希望の内容が、市として回答できる情報かどうか確認したうえで対応を検討する。 ・ 民間の委員も入った審査会を経て選定している。 原則公募であるが、地域活性化に資

<p>うことは審査会を行い、最終は市長がその団体にお願いしたということである。なぜその団体を選定したのかを知りたいということである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前述のとおり、再編計画（案）に効率的効果的な維持管理・運営に関する記述が少ないと考える。 この視点を入れて行かないと更新費用の不足額を何とかすることはできないと考える。 	<p>するなどの理由から非公募として、地元の皆さんを中心とした団体を選定するケースがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化の手法として、株式会社の参入などが、競争意識の醸成や経費削減等、運営の効率化などに繋がるかなども含めて検討したいと考える。
--	--

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 5 日（金） 19：30～20：55
 2 場 所 出石庁舎 大会議室
 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4 名
 4 参加人数 22 人
 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>そもそも、何故合併したのか。 公共施設の再編に取り組まなければならない状況になることを想定していなかったか。</p>	<p>市町合併の一番大きな理由は財政問題であった。 再編の必要性はわかっていたが、これまで、本格的な検討には至っていない。 全国的な課題であり、年々施設も老朽化していくことから、今回着手したものである。</p>
2	<p>・公共施設の再編により弱者が被害を受ける。弱者とは地方に住む人である。 東京一極集中と同じように旧豊岡一極集中となっている感じがする。利用率を見ると人口の多いところに集まってしまう。地方の不合理性を感じる。</p> <p>・城崎温泉は、町民は安く入浴できると聞いているが利用者が多いからできるのであろう。 地方の弱者にしわ寄せが来るがどうしようもないことかもしれない。しかしそれを理由にされたくないと感じる。</p>	<p>・地域ごとに極端な格差があるとは認識していない。 地域の皆さんが頑張ろうという施設は、推移を見守る考え方も持ち合わせている。</p> <p>・城崎温泉の料金は、合併前の経緯から現在の料金体系が取られているものと認識している。</p>
3	<p>市の中心部の収益性のあるものだけを残し、採算の取れないものを廃止、統合しよとしているのではないか。 また、車に乗れない高齢者は行きたいところに行けないがこういった弱者への対応はどう考えているか。</p>	<p>収益性のみならず、利用実態なども見極めて検討してきた。 市民アンケートでも高齢者施設の重要性が指摘されており、現在の方向性としている。 健康福祉センターの利用が低調な貸室をやめ、そこに高齢者や障害者用の機能を加える。施設を複合化することで人が集まりやすくなり、賑わいが生まれ、機能が高まる。そういう形を目指している。</p>
4	<p>・話を聞いて寂しい思いがしている。 公共施設は儲からないのが当たり前である。 積極的に統廃合を進めるとあるが、地方の方が利用率や稼働率が低いのは当然で、統廃合すると</p>	<p>・基本的に公共施設は利潤追求に馴染まないものとする。 統廃合を進めるとしているが建物と機能は分けて考えていただきたい。</p>

	<p>すべてなくなってしまう。 全て豊岡の中心部ということにならないよう、 周辺が寂れてしまわないよう配慮されたい。</p> <p>・類似都市とはどういった点が類似しているか。</p>	<p>建物がなくなるイコールそこでや っていたことがなくなるわけではな く、基本的に機能は維持できるよう考 えている。</p> <p>・豊岡の類似都市とは、人口5~10万 人の市で、第2、3次産業の人口比率 が95%未満で、3次産業の比率が55% 以上ということである。県内では丹波 市、三木市、芦屋市がそうである。 残念ながら、面積などは考慮されて いない。</p>
5	<p>・集会施設は、条件が整い次第譲渡となっ ているが、小さい区は譲渡を受けられるか。</p> <p>・建替えの時期が来たときどうか。</p>	<p>・現に維持管理は、すべて区に行っ ているので、実態に変更はない。</p> <p>・建替え時にどうするかは、区が判断 されることとなる。 市の補助金制度によって支援する こととなる。</p>
6	<p>・公共施設の詳細を示され、悲観するばかり である。弱者、高齢者の視点が置き去りにされ、採算 性、稼働率ばかりが強調されている。</p> <p>・質が下がっても文化的に暮らせられる状況を作 るのが行政ではないか。一極集中で旧豊岡のもの ばかり残るのではないか。 周辺にも温かい心に向けて欲しい。</p>	<p>・施設の存続のみを考えれば、市全体 の財政上、他の施策への影響が懸念さ れる。</p> <p>・真に必要な施設は継続し、そうでな いものは工夫して使って行こうとい う考えある。 建物を無くしても機能は残そうと いうのがマネジメントの考えである。 建物の存在のみが目的ではなく、そ こで何をするかが目的である。</p>
7	<p>統廃合に当たっては、旧豊岡に集中することなく、 これは日高、これは但東というようになるよう 配慮すべきである。</p>	<p>まちづくりの観点からは、それぞれ 特徴のあるまちづくりを目指し、一つ につなげて、豊岡として輝こうとい うのが市の考えである。 出石では永楽館、伝建地区のまちな み、城崎では温泉と文学など、各地域 の個性を活かしたまちづくりを今後 も進めて行く。</p>
8	<p>この説明会を開催し、どのような結論を考 えているのか。説明会で説明しました。なぜあの時意 見を言わなかったのかというのは良くない。</p>	<p>市民アンケートを実施し、市民の 方々の考え方も調査・分析したうえで 計画案をまとめてきた。 根本的に大幅な修正は想定してい</p>

		ないが、説明会での意見等も踏まえたうえで計画策定したい。
9	利用者の意見は聞くのか。	各施設の利用者にとっては、いずれも重要な施設となる。 今後計画案に沿って具体的な動きをする際に利用者への説明に努めていく。
10	文化施設について、「市民会館、城崎国際アートセンターは質の高い芸術文化を市民が鑑賞できる」とあるが、市民会館もアートセンターも音響設備は悪く、ひぼこホールの方が良い。このことは、但馬の関係者はみんなよく知っている。 豊岡の中心にあって利用しやすい、ということならわかるが。	ひぼこホールの音響設備の方が良いとの評価は伺っている。 記載内容は、適切な表現となるよう、修正する方向で検討する。

公共施設再編計画（案）に関する市民説明会

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 9 日（火） 19：30～20：45
- 2 場 所 城崎庁舎 大会議室
- 3 出席者 副市長 政策調整部長 財政課職員 4 名
- 4 参加人数 19 人
- 5 発言要旨及び回答要旨

番号	発言要旨	回答要旨
1	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画は全課の共通事項としてまとめられたのか。 ・老朽化したら更新というが、危険があれば更新しなければならないし、30 年経過したからといって危険でなければしなくてもよいのでは。文化的な価値のある建物もあるかもしれない。 ・公民館がコミュニティセンターに変わる一番大きな理由は何か。組織はどう変わるのか。城崎の文化が維持できるか。 ・市民会館やひぼこホールは、維持費がかさみ、収入が少ないということだが、合併前は多くの人が集まる文化的行事などが多くあった。行事の内容を検討すべきである。 ・文芸館も人が減っている。旅館から貴重な文化資料等を借りて特別展などを開催すべきである。内容の検討が重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的にまとめ上げた計画である。 ・単に経過年数だけではなく、安全であれば使用継続する、危険があれば必要な修繕を施すという考えである。 ・コミュニティセンターは区単位で考えられない課題を小学校区単位で考えようということである。 公民館は法的に生涯学習事業に関することしか行えないことから、地域の課題に取り組んでいただくよう変更するものである。 主事になる人材は、市が確保する。現在の主事がそのままという例も多い。 コミュニティセンターが直接採用する人材は交付金で支援する。現在と同等以上のことができるよう交付金を考えている。 ・芸術鑑賞の機会等は大切なことと考えている。行事の見直し等のご提言も担当課に伝える。 ・文芸館は、現在、リニューアル整備中である。1 階に無料のパブリックスペースを設置したり特別展を検討するなど、指定管理者も含めて、リピーターを増やすような方策を検討されていると伺っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・城崎健康福祉センターについて、浴室の休止の時期は決定しているか。 ・会議室の稼働率が低いということである。湯島 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室の休止の時期は決定していない。これから議論していくこととしている。 健康福祉センターで浴室があるの

	<p>は町内会の会館が少ないので、町内の交流や会議の場として、少し減額したうえでセンターの会議室を貸し出せば、利用者も増えるのではないかな。</p>	<p>は城崎だけで、城崎には外湯がある。利用者も市民だが費用負担者も市民ということをご理解いただきたい。</p> <p>・会議室について、健康福祉センターの設置目的からすれば地域の交流の場のみを理由として議論すべきものではないと考える。</p> <p>区や町内会の集会施設の必要性等については、まず区等で検討いただきたい。</p>
3	<p>内島町内会は 3/4 の世帯が市営住宅で居住者である。(持ち家は 10 戸、市営住宅は 28 戸)</p> <p>市営住宅は築 24 年だが、10 数年前からあちこち修繕が行われている。あと 5~10 年で相当古くなり建替え、廃止という議論になると考えるが方向性はどうか。</p>	<p>計画では維持としているが、現時点では建て替えの検討までは行っていない。</p> <p>その時点での人口や住宅需要等によって判断されるものと考えている。</p>
4	<p>文芸館のリニューアルで 1 階が無料、2 階が有料になるということによいか。</p> <p>町内のグループが写真展や書道展などを行うが、それを見に来てもらうだけで入館料が必要である。今後は不要になるということか。</p>	<p>1 階の一部と 2 階が有料となる。</p> <p>写真展等については、展示される方が、貸室の使用料を支払う必要があるが、それを見に来る人は無料のエリアなので、入館料は不要と聞いている。</p>
5	<p>日高文化体育館やひぼこホールで音響設備等が使えないことがある。点検がきちんと行われていない、あるいは点検後きちんと修繕していないことが理由である。</p> <p>指定管理者からきちんと報告がされているか。</p> <p>ホール機能のワイヤーなど、経年劣化していくがこれもきちんと点検等行っているか。</p> <p>点検修繕が後手後手になっていると聞くのでしつかりやっていただきたい。</p>	<p>指定管理者からは危険性があるものについてはきちんと報告・対応等がされているものと理解している。</p> <p>また、法定の点検はきちんと行われ、利用者の安全利用には十分注意されているものと考えている。</p> <p>大きな修繕などは、予算がなくですぐにできない場合がある。</p> <p>市の予算は議会の議決が必要なので、時間を要し、即時に対応できない場合もあることは理解いただきたい。</p>

豊岡市公共施設再編計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の
実施結果について

- 1 募集期間 平成28年7月27日（水）～8月12日（金）
2 意見提出件数 8件（8人）
3 意見等の内容

番号	意見等の内容
1	<p>8月号広報の表題の記事を読ませて頂きました（次世代に負担を先送りしないために）全くその考え方針に諸手を挙げて賛同します。</p> <p>健全な豊岡市が在っての市民の幸せと考えます。</p> <p>ここは英断を持って果敢に豊岡市改革に取り組んで下さいませ。</p> <p>その道程には数知れない困難・問題もあろうかと考えます。その作業に関わられ方には大変な心労を味あわせる事になるかと考えます。</p> <p>大変ご苦勞様ですがよろしくよろしくお願い致します。</p>
2	<p>「公共施設再編計画案」を読ませて頂きました。</p> <p>①これは、豊岡市の「公共施設マネジメント基本方針」に則って作成されたものだと思います。そこで、今回の「再編計画案」を基本方針P16にある『公共施設マネジメント3原則』に照らしてみると、「ウ 効率的・効果的な維持管理・運営」という視点での内容が非常に希薄だと思いました。</p> <p>公共施設の再編をハードの面からばかり考えるのではなく、その施設をどう運営するかというソフト面からも考えていかないと、何のための「基本方針」策定であったのかが問われます。また、再編の目的達成もおぼつか無くなります。</p> <p>②公共施設の運営については、本市でも「指定管理者制度」を既に導入しています。しかし、残念ながら『公募』ではなく、ほとんどが『非公募』という状況です。「指定管理者制度」の原則は『公募』です。</p> <p>非公募の理由として、雇用対策、住民の参画による地域振興、過疎対策が挙げられてきました。これらの施設で、指定管理者を公募にすれば、本当に地域の活性化が図れなくなるのでしょうか？一概に「非公募」を否定するつもりはありませんが、「非公募」による具体的な成果をきちんと検証し、公表する必要があると思います。</p> <p>また、近隣他市における指定管理者制度の活用実態や成果と比較しながら、「再編計画案」の作成は成されるべきものと考えます。</p>
3	<p>①豊岡市の財政問題の根本にあるのは人口減による税収減である。人口減に歯止めをかけるためには、子育て世代の定着と、都会からのUターンや移住等をしやすい環境を整えることが必要と考える。</p> <p>②子育てに欠かせないのが幼稚園や学校である。豊岡市には小規模な幼稚園や学校が多く、適正規模の教育が大事というが、幼稚園や学校の統合は、地域コミュニティの崩壊と子育て世代の流出に直結するので、するべきではない。</p> <p>少人数の方が目が届きやすく、学年を超えた交流もしやすいなど多くのメリットもある。</p> <p>また、利用者1人当たりの費用を考えると、小規模な幼稚園や学校はコストがかかり不公平にも見えるが、統合などにより遠方の別の地域の幼稚園や学校に通わざるを</p>

	<p>えない状況は、その地域の住民にとってこれ以上ない不公平である。</p> <p>そのような地域が増えていくと、豊岡市の人口は、どんどん減少していきだろう。</p> <p>③現在、東京都をはじめとする都市部には待機児童が多く存在している。豊岡市に小規模な幼稚園が多いのであれば、ホームページ等でアピールして、Uターンや移住等を促すべきであろう。</p> <p>④また、市内には戦前の旧町村をおよその単位とした29地区があるが、地域の拠点として全ての地区に1つは幼稚園や保育所などの託児施設を設置し、子育て環境を整えることも真剣に考えるべきと思う。公共施設の再編については、民間や住民の努力では解決しにくい教育の部分を重視し、財源を割くようにしていただきたい。</p> <p>長い目で見た場合、それが豊岡市の人口減の歯止めにつながり、財政の健全化にもつながると考える。</p>
4	<p>①市内スポーツ施設の再編はある程度必要だと思います。再編される施設を利用するスポーツで、市内で統一したスポーツ団体等があれば意見も取り入れるべきだと思います。</p> <p>また、観光施設もスポーツ施設も使う側に見れば同じだと思います。</p> <p>②施設の利用優先順位を市民に分かりやすくしてほしいです。</p>
5	<p>①ハコモノはその時の長の権力ムードや全体として前向きな感覚でどうしても派手に進行する傾向がある。今提案されている施設等がバブル時代の遺産とも言える。</p> <p>新庁舎もそのように思うが、今後100年後のことを考えて計画すべきである。</p> <p>②基本的に地方自治とは、市民の福祉（幸せ）を実現するためのものと考え。市民全体が利益を享受できることを考えて施策をやってもらいたい。市は、出石は永楽館や伝建を中心と言われるが、出石の中でも伝建で受益されるのはわずかである。その地域に何が必要か少なくとも小学校区単位（新しいコミュニティ単位）でも説明し意見を求めるべきではないか。</p> <p>③旧豊岡の一極集中に陥らないようすべきである。一般住民は議会制民主主義の中ではなかなか意見が言えない。</p>
6	<p>説明会に出席して思ったのは、率直に言ってやはり豊岡市中心部をメインにし、旧豊岡以外の地区をなおざりにしているように思い、納得のいくものではありません。</p> <p>市長がどのようなビジョンを将来的に考えておられるのか、また、すでに資料を見る限りにおいて答え（シナリオ）ができていて我々を説得しているように思う。</p> <p>確かに予算等はあると思うし、財源もありますがその土地の人の身になった計画を打ち出していきたい。</p> <p>これでは、弱者の立場に立っていないある意味弱い者いじめの計画である。おいしい所どりはおかしい。すべてを否定しないが、今後このようなお役人仕事で事を進行すれば市民の協力体制は崩れ、先行き不安な豊岡市になると思う。</p>
7	<p>合併後10年以上経てのインフラ整備に対する意見募集ですが、もっと早く考えられなかったのでしょうか。地域コミュニティの取組みも地域特性があるのでしょうか、進行が遅いように思います。</p>

	<p>それに引き換え今回は、意見募集期間が17日間で説明会も6回。これで十分に市民の意見が汲み上げられるのでしょうか。意見募集の周知も充分になされていたのでしょうか。不安を感じている市民は少数なのでしょうか。最近是他地域から有償でアドバイザーを招いて、意見を頂いているようです。</p> <p>もっと広く市民に意見を求める機会を考えて頂いて、但馬に育った有志者を掘り起こす努力を切に望みます。</p>
8	<p>①旧市町時代には各地域に必要な施設であったと思いますが、合併後に地域が再編され、老朽化と共に利用状況の少ない施設に関して、再編・廃止等はやむなしと考えます。ただし、但馬エリアは広く、高速道も不整備にて移動時間などを考慮して頂きたい。また、貴市で推進している「スポーツクラブ21」事業による豊かなスポーツライフの実現、スポーツを通じた地域コミュニティづくりなど施設の持つ役割を再確認して頂きたい。</p> <p>②2～4面（コート数）では大会は開催できなく神美台10面を使用していますが、将来のテニス人口にもよりますが、再編によるコート数の増設も検討して頂きたい。</p>



豊岡市公共施設再編計画(案) に関する市民説明会

～次世代に負担を先送りしないために～



公共施設再編計画の概要

1. 計画策定の背景

- ・全国の自治体で公共施設の老朽化が大きな問題
- ・本市でも、公共施設（庁舎、学校、公民館、図書館、ホールなどの建築物）の多くが既に老朽化し、今後、一斉に改修や建替えの時期が到来
- ・平成17年の市町合併に伴い、旧市町時代に整備された用途や目的が重複している施設を、そのまま引き継ぎ

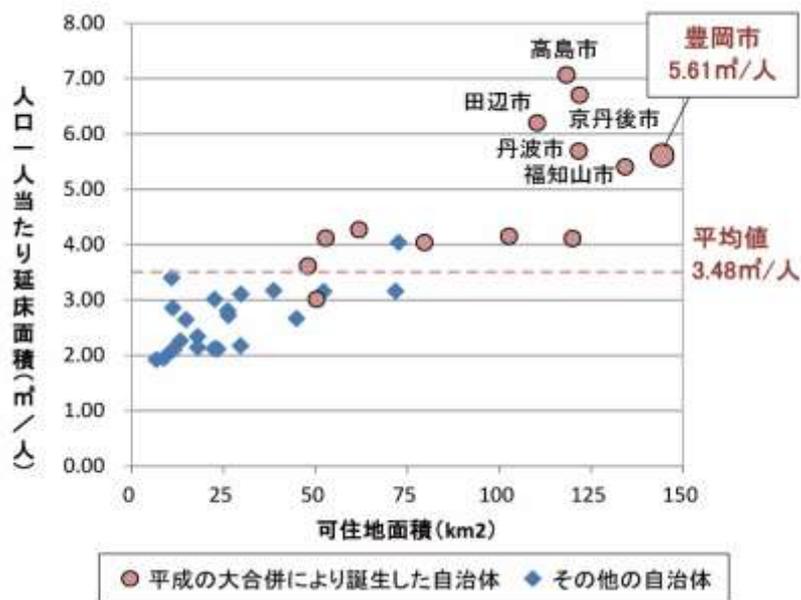


公共施設の建替えなどに伴う多額の財政負担を軽減させ、施設サービスの水準を適切に維持していくため、施設保有量の最適化(総量縮減)に取り組むことが必要

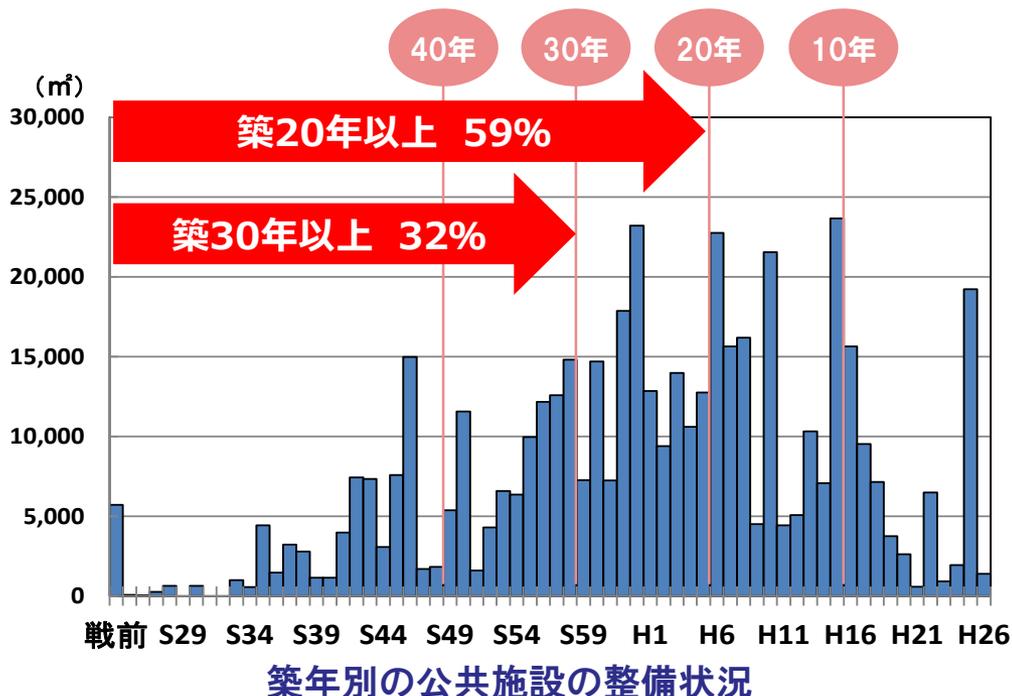
2. 公共施設の現状と課題 (1)

(1) 保有量が多く老朽化する施設

- ・574施設、総延床面積48.7万㎡（市民一人当たり5.6㎡）を保有。
その規模は類似都市平均の1.6倍（H26.4.1現在）
- ・10年後には築30年を経過する施設が半数以上にのぼるなど、今後、多くの施設で改修や建替えの時期が到来



人口一人当たり延床面積の類似団体との比較



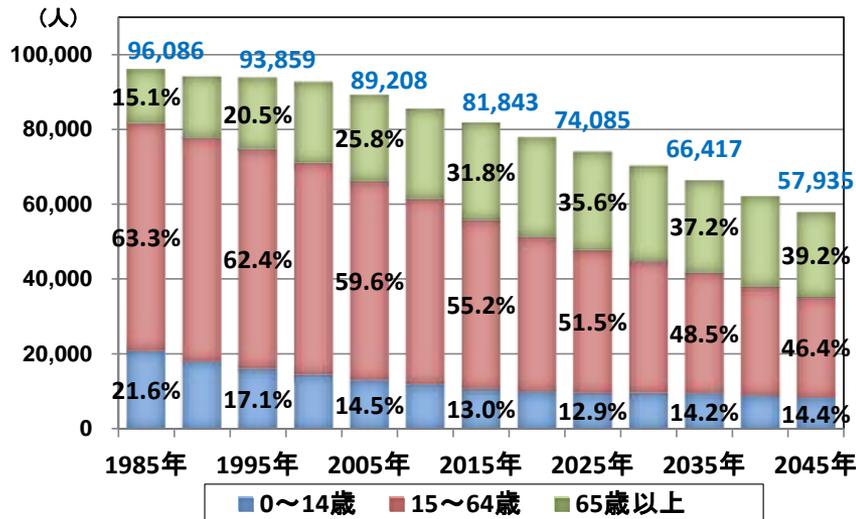
築年別の公共施設の整備状況



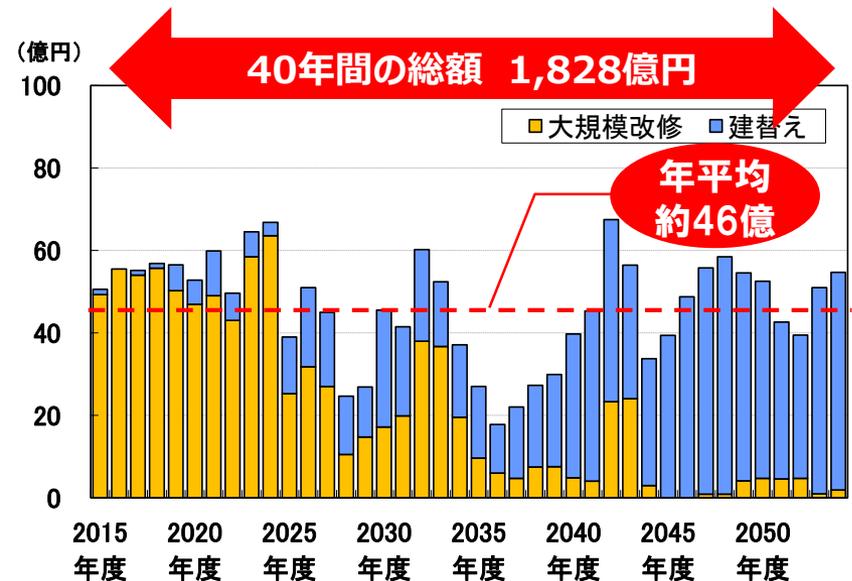
2. 公共施設の現状と課題 (2)

(2) 減少する人口と財政状況

- ・①働き盛り世代の減少による税収の伸び悩み②市町合併で優遇されてきた普通交付税が縮減。⇒建替えなどに対する財源が一層不足
- ・現在の施設をそのまま維持・更新する費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円、年平均で約46億円が必要



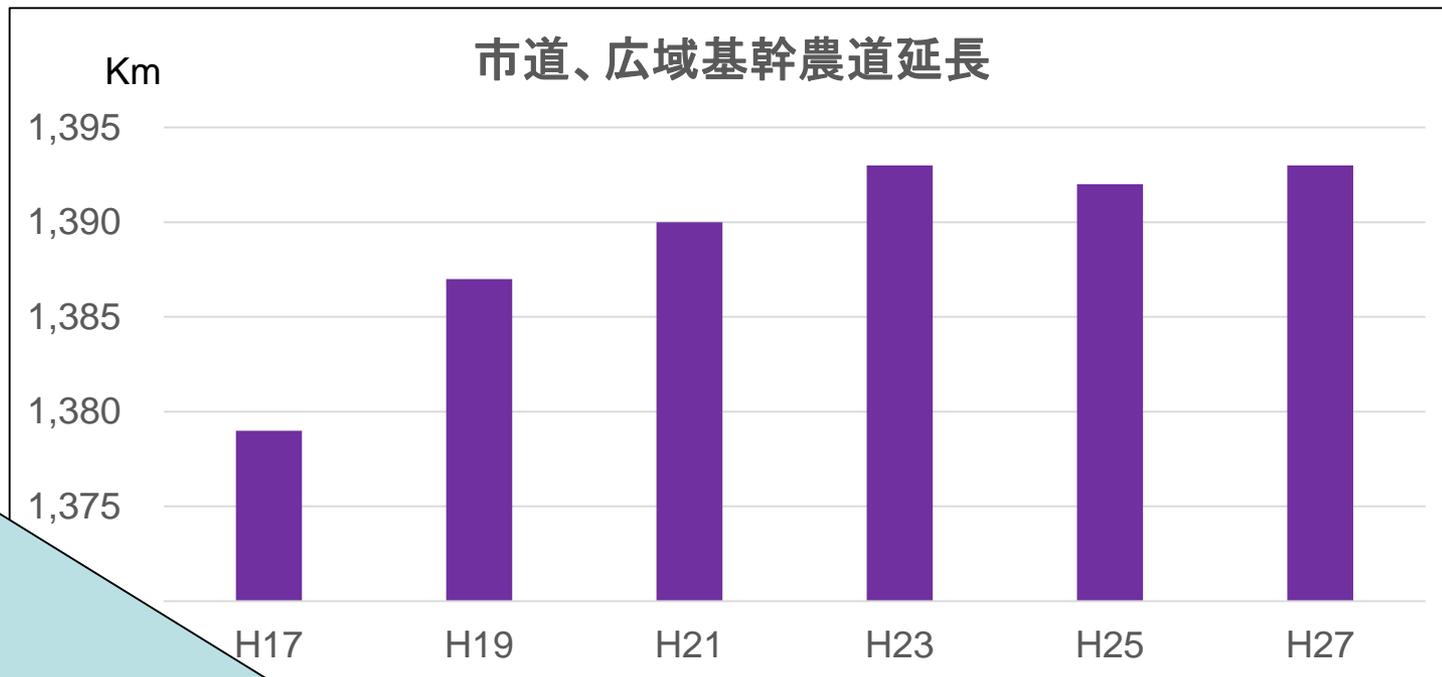
人口及び人口構成の推移と将来見通し



公共施設の維持・更新にかかる費用の試算

3. インフラの状況

○道路延長（橋梁、トンネル含む）



用途廃止は非現実的

道路 …… 廃止できるか？

橋梁、トンネル …… 不安があっても通行を認めるか？

4. 施設保有量の最適化に向けた数値目標

- ・施設の更新に必要な約46億円/年に対して、充当できる経費は21.2億円/年（長期財政見通し（平成28年5月公表）から試算）
- ・この不足額を解消するためには、長寿命化（施設を有効活用して長く使用）とあわせて、延床面積の34%削減が必要。

パターン	条件	1年当たりの更新費用	40年間の更新費用の総額
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え60年 ・大規模改修30年 	45.7億円	1,828億円
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え80年 ・大規模改修40年 	31.9億円	1,277億円
長寿命化 + 延床面積削減	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え80年 ・大規模改修40年 ・延床面積34%削減 	21.2億円	849億円



5. 計画策定の目的

- ・建替えなどに伴う多額の財政負担を軽減させ、施設サービスの水準を適切に維持していくため、施設保有量の最適化（総量縮減）を図る。
- ・老朽化の現状と、将来の建替えなどに要する費用を明らかにして、これからの時代に求められる公共施設の役割や機能を踏まえた個別施設の方向性を提示

公共施設再編計画（案）策定の経過

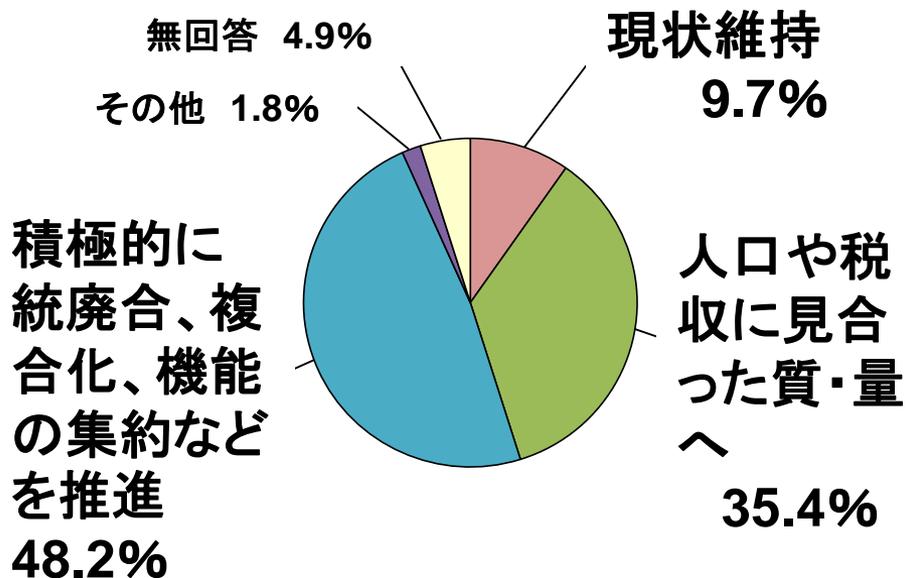
- H27.5 公共施設マネジメント基本方針の公表
公共施設マネジメントの取組み方針（総論）を策定（広報H27年8月号掲載）
- H27.6 公共施設白書の公表（広報H27年8月号）
公共施設の現状や課題を整理・見える化（広報H27年8月号掲載）
- H27.9 公共施設に関する市民アンケート結果の公表
公共施設のあり方に関する市民意向を把握（18歳以上の市民2,000人）
（広報H27年11月号掲載）

6. 基本方針に定めた事項

- ① まちづくりの推進や地域の活性化に資する施設は機能の強化や充実を検討
- ② 市民、民間企業等との協働による維持管理・運営を促進、公的不動産を生かした増収施策などを強化
- ③ 「第3次行政改革大綱」を踏まえ、引き続き維持管理・運営費を削減、費用対効果を勘案し民間委託を推進
- ④ 施設の建替え時には、多機能化などによる施設の集約化、単独で建替える場合は減築を原則とした規模の適正化

7. 市民アンケートの結果

今後の公共施設の整備(総量見直し)あり方



公共施設の更新費用の負担を減らす方策



※上位6位までの回答を表示

8. 計画の対象施設と記載事項

○計画の期間

- ・平成28年度～37年度（第1期計画）

○計画の対象施設

- ・計画期間内に築30年を迎える施設、その他再編の必要性が高い施設
- ・小規模な施設、文化財指定の施設は対象外
- ・建築物以外の道路、橋りょう、公園、上水道、下水道などのインフラ系の施設は対象外

○計画の記載事項（個別施設の方向性）

- ・計画の対象施設について、「建替」、「継続」、「転用」、「譲渡」、「廃止」、「移転」、「統合」、「検討」に分類

9. これまでの取組み事例

(1) 多機能化（複合化）

- 各振興局では、旧町時代の空きスペース（議場など）を地区公民館や図書館分館、子育てセンターとして有効利用

ハコ(建物)を減らして、サービス(機能)は維持・強化!

振興局名	複合施設
城崎庁舎	地区公民館、子育てセンター、図書館分館
竹野庁舎	地区公民館、図書館分館
日高庁舎	子育てセンター、図書館分館
出石庁舎	地区公民館、子育てセンター、図書館分館
但東庁舎	地区公民館、子育てセンター、図書館分館



(2) 類似機能の共有化

- 中竹野ふるさと館は、地域住民のスポーツの場だけでなく、中竹野小学校の体育館として共用、さらに、放課後児童クラブも併設





個別施設の方向性(各論)

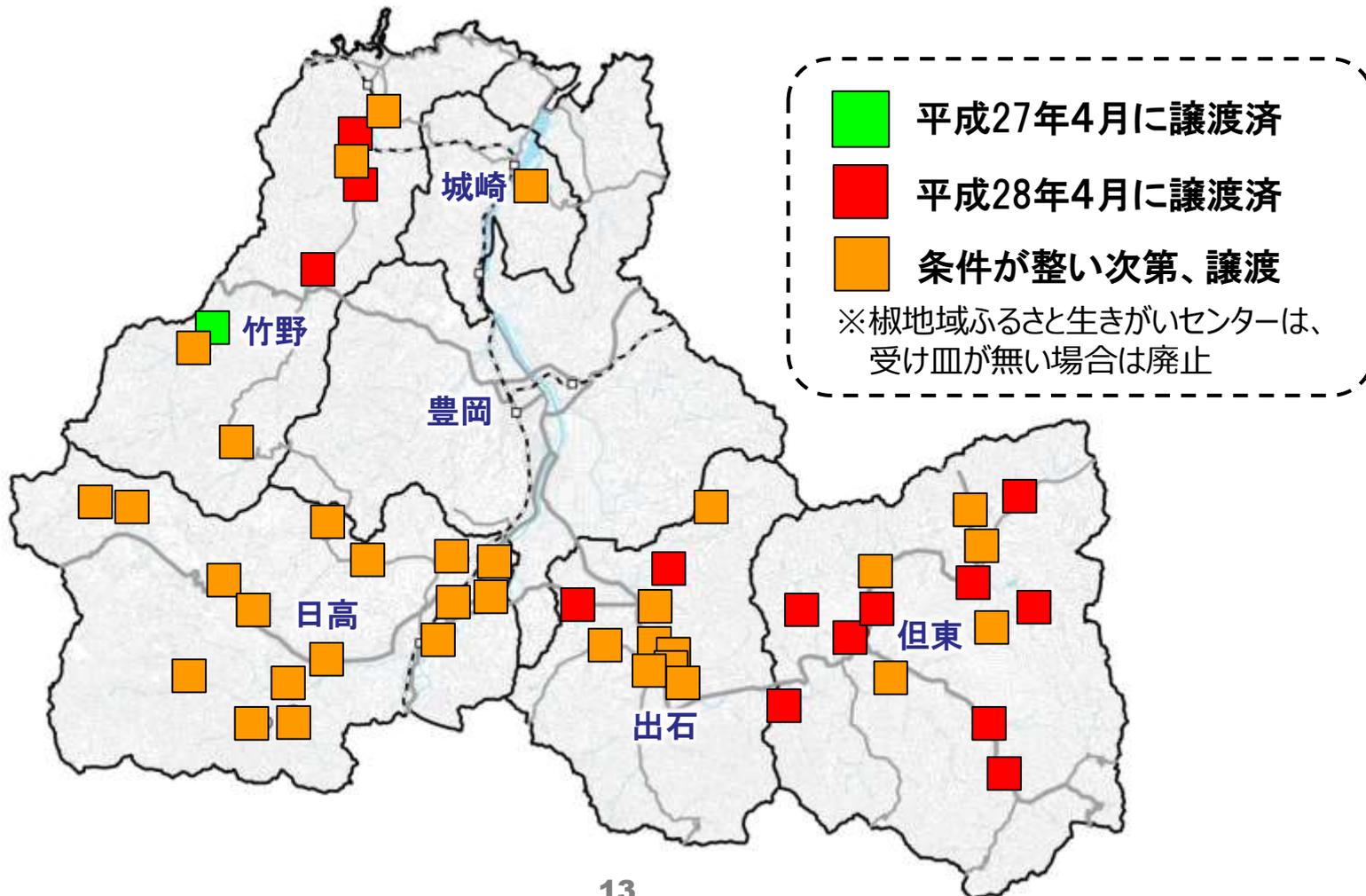
※次ページ以降に記載の利用者数、収入支出金額は、平成25年度の数値です。



豊岡市

1. 集会施設

- ・集会施設は本来、各地区が整備すべきところを市が様々な補助事業を利用して整備を支援してきたものであるため、条件が整い次第、自治会など地元へ譲渡





2. 文化施設（現状）

- ・文化施設を6館（ホール機能を有する出石永楽館、日高文化体育館を含めると8館）所有
- ・ホールの規模は、豊岡市民会館と城崎国際アートセンターが千席（人）規模である一方、他の施設は数百席であり、市域規模の催しの開催に制約がある
- ・ホールの稼働率は、豊岡市民プラザを除き10%～20%程度と低調

	豊岡市民会館	豊岡市民プラザ	城崎市民センター	城崎国際アートセンター	出石文化会館			但東市民センター
建築年	昭和46年	平成10年	平成15年	昭和58年	平成6年			平成6年
延床面積	5,922㎡	2,436㎡	386㎡	3,930㎡	2,423㎡			1,099㎡
利用者数	88,071人	123,746人	2,161人	—	12,915人			7,778人
ホール	文化ホール	ほっとステージ	—	ホール	大	多目的	小	ホール
収容人数	1,118席	294席	—	500席 (1,000人)	490人	380人	100人	248人
ホール稼働率	11.8%	49.0%	—	—	7.6%	6.0%	14%	21.4%

2. 文化施設（方向性）

- ・豊岡市民会館や城崎国際アートセンターは、質の高い芸術・文化を市民が鑑賞できる拠点施設として、現在の配置・機能を維持
- ・その他の文化施設は、将来的な廃止を含めた施設のあり方を検討

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
<p>豊岡市民会館</p>  <p>文化ホール:1,118席</p> <p>豊岡市民プラザ</p>  <p>ほっとステージ:294席</p>	<p>城崎国際アートセンター</p>  <p>ホール:500席(1,000人)</p> <p>城崎市民センター</p>			<p>出石文化会館</p>  <p>大ホール:461席</p> <p>検討</p>	<p>但東市民センター</p>  <p>ホール:248人</p> <p>転用</p>
<p>・市内ホール施設の役割を明確にし、施設のあり方を検討</p> <p>・施設が維持できなくなった段階で廃止を検討</p>					

3. 博物館・資料館（現状）

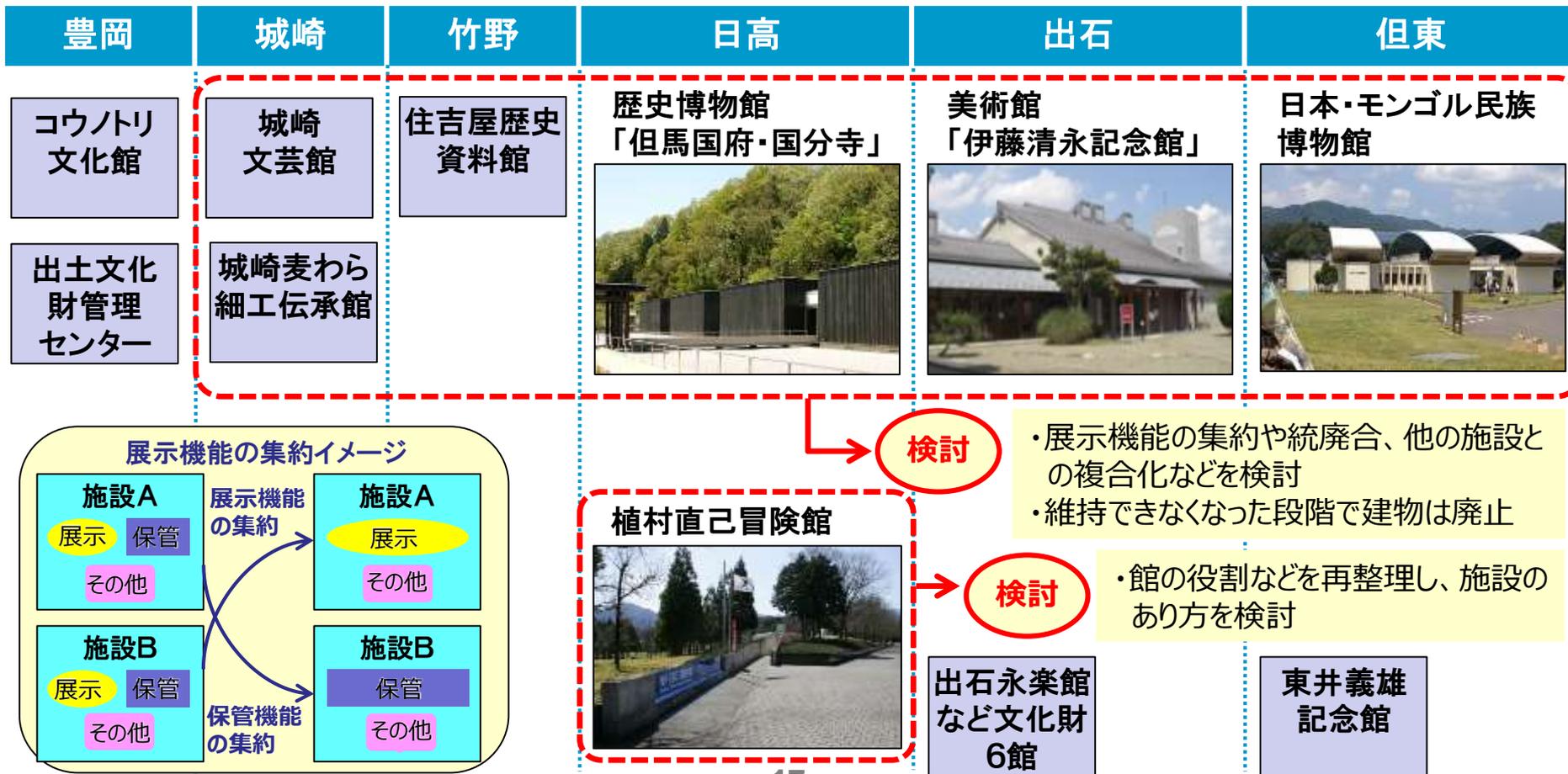
- ・博物館・資料館を10館を所有
- ・年間利用者数は、300千人以上が訪れるコウノトリ文化館以外は、植村直己冒険館で約25千人、その他の施設で3千人～12千人程度
- ・植村直己冒険館、歴史博物館「但馬国府・国分寺館」、美術館「伊藤清永記念館」、日本・モンゴル民族博物館では、多額の維持管理費が必要

	城崎文芸館	城崎麦わら細工伝承館	住吉屋歴史資料館	植村直己冒険館	歴史博物館「但馬国府・国分寺館」	美術館「伊藤清永記念館」	日本・モンゴル民族博物館
建築年	平成8年	大正10年	平成13年	平成6年	平成17年	平成元年	平成8年
延床面積	1,081㎡	77㎡	489㎡	1,373㎡	1,452㎡	956㎡	1,294㎡
利用者数	12,104人	6,012人	3,174人	25,062人	7,927人	8,833人	10,657人
観覧料等の収入	利用料金制	利用料金制	563千円	7,432千円	1,018千円	4,073千円	1,596千円
維持管理費（市の支出）	6,715千円	2,300千円	4,944千円	52,337千円	33,103千円	22,738千円	35,801千円

※表中の施設のほか、出土文化財管理センター、コウノトリ文化館、東井義雄記念館を所有しています。

3. 博物館・資料館（方向性）

- ・コウノトリ文化館は、人と自然の共生できる地域づくりの拠点として維持
- ・その他の施設は、施設の性質から本来は、市域又は広域施設として多くの人々に利用されるため、集約化によるサービスの維持・向上のあり方を検討



4. 健康福祉施設（現状）

- ・市民の福祉の増進及び健康づくりに寄与するため、各地域に健康福祉センターを所有（社会福祉協議会の事務局を設置）
- ・福祉関係団体が行う住民サービスを支援するため、事務室や活動場所を設置
- ・各館とも会議室などの貸室を有しており、稼働率は10%～20%程度と低調

	豊岡健康福祉センター	城崎健康福祉センター	竹野健康福祉センター	日高健康福祉センター	出石健康福祉センター	但東健康福祉センター	日高東部健康福祉センター
建築年	昭和57年	平成6年	平成16年	平成5年	平成7年	平成15年	平成17年
延床面積	2,954㎡	2,336㎡	1,759㎡	3,123㎡	2,096㎡	3,178㎡	1,831㎡
施設の構成（貸室以外）	こども支援センター、ボランティアセンターなど	地域包括支援センター、デイサービスセンター、浴室など	地域包括支援センターなど	地域包括支援センター、デイサービスセンターなど	地域包括支援センターなど	地域包括支援センター、デイサービスセンターなど	デイサービスセンター、温水プール、健康スタジオなど
貸室	会議室2	多機能ホール、研修室2、栄養指導室	会議室、研修室2、理学療法室兼作業療法室、日常訓練室兼栄養指導室	視聴覚室、研修室2、会議室、和室相談室、多目的集団指導室	多目的ホール、健康相談室、ボランティア室、会議室、給食調理室、娯楽室、茶室	トレーニング室、給食調理室、交流促進室、研修室、農林産品製作室、ボランティア推進室	—
貸室稼働率	21.9%	10.3%	9.4%	25.6%	27.3%	17.7%	—

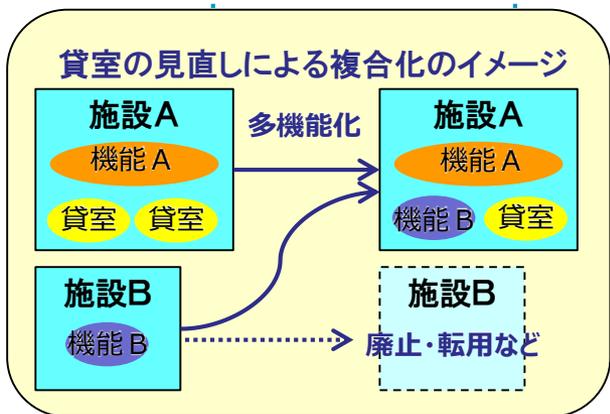


豊岡市

4. 健康福祉施設（方向性）

- ・地域に必要な福祉サービスなどを提供していくため、現在の配置・機能を維持
ただし、稼働率の低い貸室を見直し、**他の施設との複合化・共有化**を検討
- ・城崎健康福祉センターの**一般浴室は運営を休止**

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
豊岡健康福祉センター 	城崎健康福祉センター  一般浴室は休止	竹野健康福祉センター 	日高健康福祉センター 	出石健康福祉センター 	但東健康福祉センター 



検討

・稼働率の低い貸室を見直し、他の施設との複合化などを検討

日高東部健康福祉センター



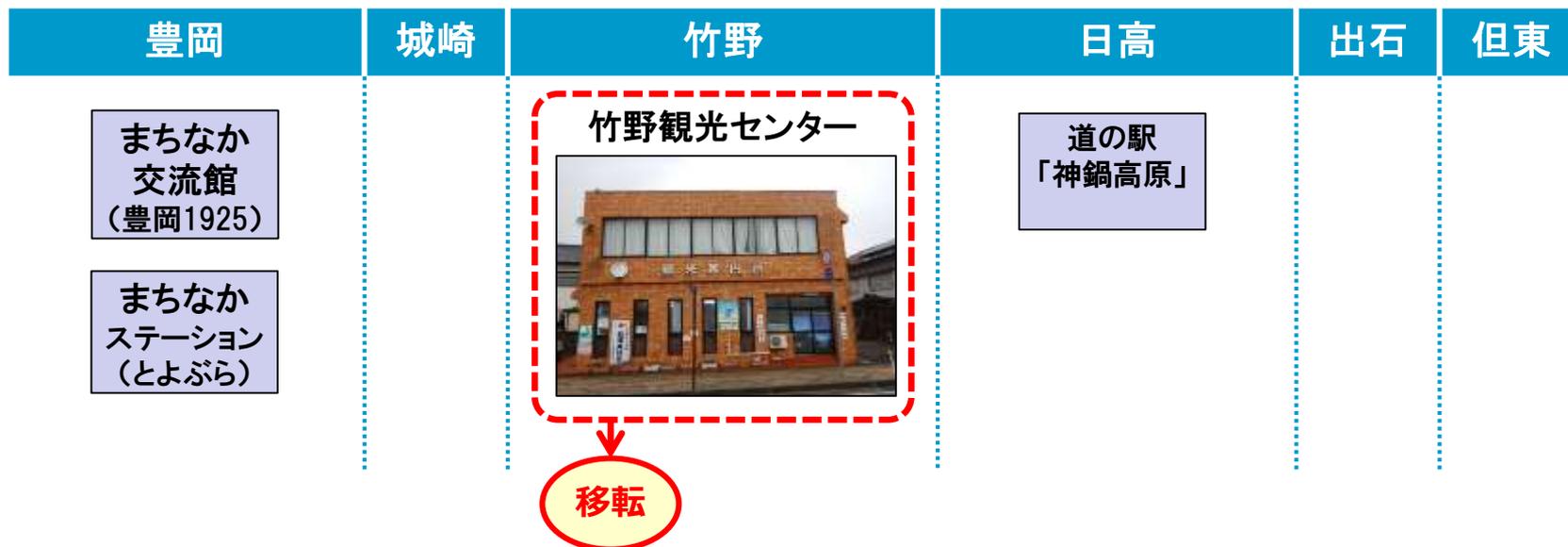
5. 高齢者福祉施設（老人福祉センター）

- ・豊岡地域と竹野地域に計 **2館** 所有
- ・高齢者の生きがいづくりの場としては、地区公民館や集会施設なども整備されているほか、デイサービスも各所にあるため、他の施設と **機能や利用圏域が重複**
- ・原則として利用者は60歳以上に限定、各館の貸室の稼働率は **10%未滿**

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
<p>長寿園</p>  <p>浴室は、利用状況に応じて休止</p> <p>検討</p> <p>・用途転用や複合化などによる有効活用を検討</p>		<p>竹野老人福祉センター</p>  <p>廃止・譲渡</p> <p>・高齢者の生きがいづくりなどは、他の施設で代替可能であるため、廃止又は譲渡を検討</p>			

6. 観光センター

- ・観光協会が入居している竹野観光センターと道の駅「神鍋高原」、まちなか交流館（豊岡1925）、まちなかステーション（とよぶら）の4施設を所有
- ・老朽化している竹野観光センターについては、観光案内所や事務所として施設の必要性を検証し、近隣施設への移転を検討（竹野駅から離れた立地であることが観光案内において課題であったが、竹野駅内に観光案内所が開設済）



- ・観光案内所や事務所としての施設の必要性を検証し、近隣施設への移転を検討



豊岡市

7. スポーツ施設【体育館】（現状①）

- 体育館を **9館**（豊岡地域2、竹野地域2、日高地域2、出石地域1、但東地域2）所有
- 総合体育館以外は、**利用者のほとんどが地域住民**、神鍋高原体育館は**利用者のほとんどが民宿宿泊客**
- 年間利用者数は、総合体育館の約45千人、日高文化体育館の約37千人、中竹野ふるさと館の約26千人、市民体育館の約22千人に対し、他の施設では **2千人～10千人**

（参考）小中学校の体育館を地域住民のスポーツ・レクリエーションなどの場として開放



総合体育館



神鍋高原体育館



市民体育館



竹野 B & G 海洋センター



日高文化体育館



出石 B & G 海洋センター



資母体育館

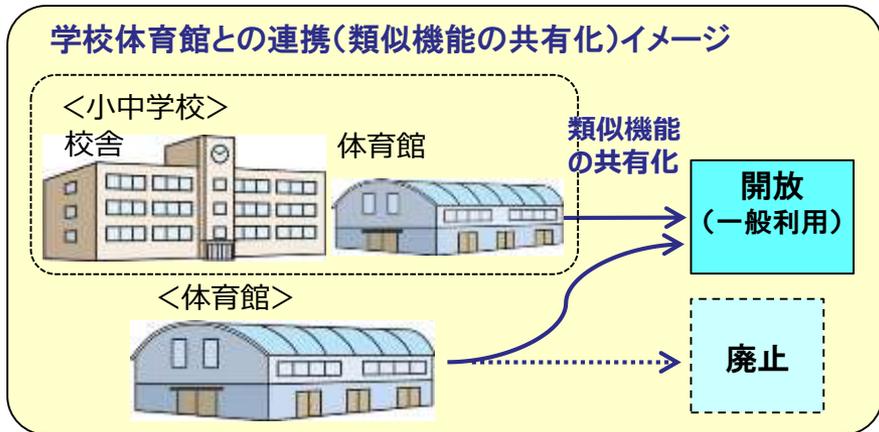
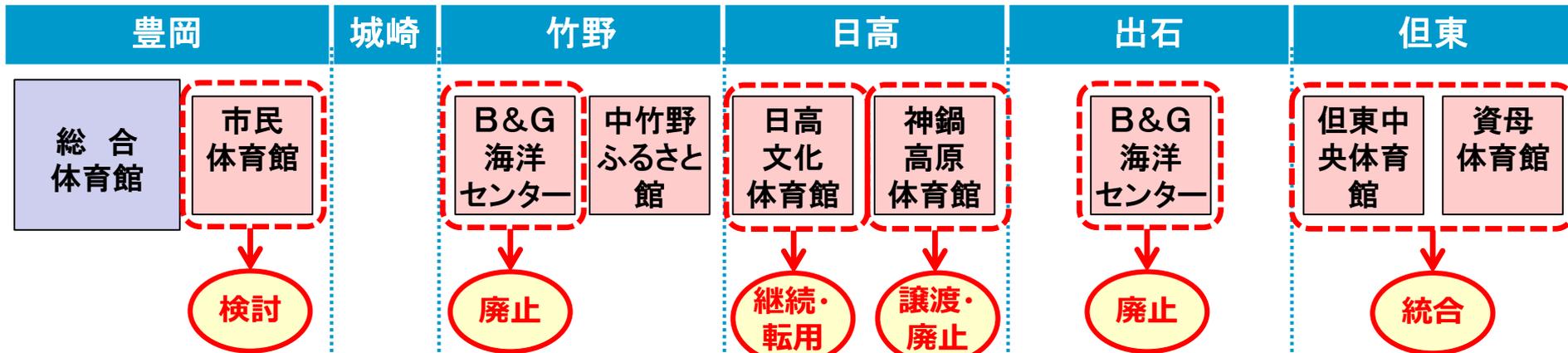
7. スポーツ施設【体育館】（現状②）

	市民 体育館	総合 体育館	竹野 B&G 海洋 センター	中竹野 ふるさと 館	日高文化 体育館	神鍋高原 体育館	出石 B&G 海洋 センター 体育館	但東中央 体育館	資母 体育館
建築年	昭和35年	昭和63年	昭和60年	平成15年	昭和62年	昭和46年	昭和57年	昭和58年	平成5年
延床面積	2,432㎡	3,903㎡	1,716㎡	917㎡	2,731㎡	812㎡	1,373㎡	1,432㎡	1,236㎡
競技場・アリーナ	1面 ・バレー2 ・バスケ1 ・卓球12 ・観客席 300席	1面 ・バレー4 ・バスケ2 ・卓球124 ・観客席 736席 ・放送設 備	1面 ・バレー2 ・バスケ1 ※他に プール有	1面 ・バレー1 ・バスケ1	1面 ・バレー2 ・バスケ1 ・可動席 ※ホール と共用	1面 ・バレー2 ・バスケ2 ・卓球6	1面 ・バレー2 ・バスケ1	1面 ・バレー2 ・バスケ1	1面 ・バレー2 ・バスケ2
利用者数	21,581人	45,136人	10,056人 ※プール を含む	26,325人	36,506人	6,110人	9,305人	3,755人	2,244人

※表中の施設のほか、市内には県立但馬文教府の講堂兼体育室があります。

7. スポーツ施設【体育館】（方向性）

- ・総合体育館は、大規模スポーツ大会などが開催できる拠点施設として、現在の配置・機能を維持
- ・その他の体育館は、人口減少に伴い需要の減少が見込まれるため、学校体育館の開放などを考慮し、老朽化などから使用不能と判断した時点での廃止を基本



8. レクリエーション施設（現状）

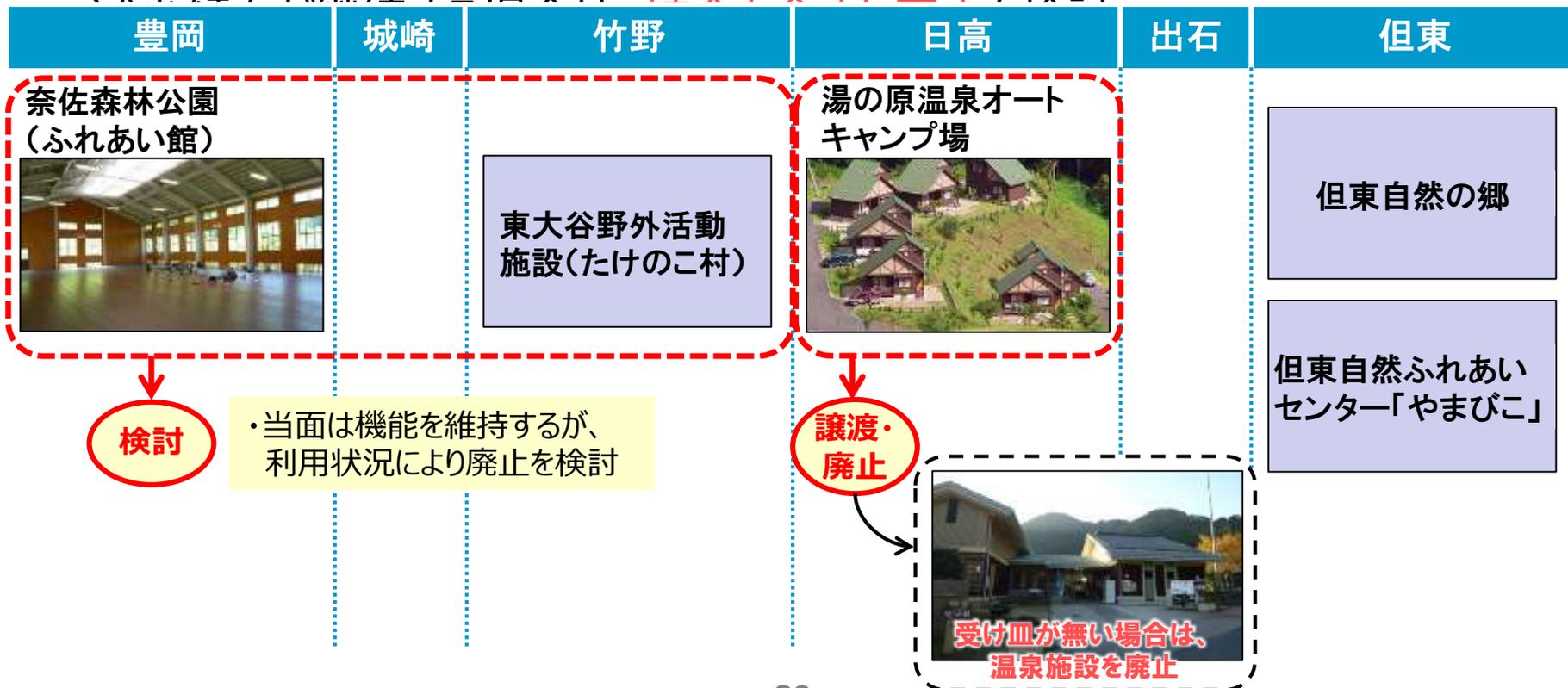
- ・雇用対策や地域振興などに取り組んできた経緯から、観光目的とした宿泊施設を **5施設**（コテージ3、旅館1、田舎暮らし体験施設1）所有
- ・湯の原温泉キャンプ場は、日高地域内で神鍋温泉ゆとろぎと **温泉機能が重複**
- ・すべての宿泊施設で指定管理者制度を導入。指定管理料の支出は無いが、施設の **修繕・改修費用を市が負担**
- ・その他、奈佐森林公園のふれあい館（体育館）、キャンプ場の管理棟などを所有
- ・年間利用者数は、東大谷野外活動施設と奈佐森林公園では、少子化に伴い **子ども会や小学生の利用が減少傾向**

	東大谷野外活動施設(たけのこ村)	湯の原温泉オートキャンプ場	但東自然の郷	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	奈佐森林公園
建築年	平成3年	平成10年	平成7年	昭和60年	平成7年
延床面積	948㎡	1,718㎡	376㎡	3,475㎡	799㎡
施設の構成	コテージ2、常設テント、炊事棟、研修棟、休憩棟ほか	温泉施設、サニタリー棟2、5人用コテージ12ほか	5人用コテージ4	本館(洋室3)、別館(和室13)、宴会場、レストランほか	ふれあい館(体育館)、管理棟、炊事棟ほか
利用者数	3,179人	48,912人 ※温泉施設を含む	2,111人	17,361人	4,367人

※表中の施設のほか、宿泊施設については、小規模な施設として田舎暮らし体験施設を所有しています。

8. レクリエーション施設（方向性）

- ・観光的な要素が強い施設であるため**民営化**を基本
ただし、雇用創出や住民の参画により地域振興を担ってきた側面が大きい施設は、
現状の配置・機能を維持
- ・東大谷野外活動施設と奈佐森林公園については、少子化が進み、利用者の



9. 温泉施設（現状）

- ・雇用対策や地域振興などに取り組んできた経緯から、入浴施設を6館（湯の原温泉オートキャンプ場を含めると7館）所有
- ・但東シルク温泉館とたんたん温泉は、但東地域内で機能が重複
- ・すべての施設で指定管理者制度を導入。指定管理料の支出は無いが、施設の修繕・改修費用を市が負担
- ・たんたん温泉福寿の湯（約59千人）、竹野北前館（温泉利用者は約46千人）では、相対的に利用者が少数

	城崎温泉交流センター	竹野北前館	神鍋温泉 ゆとろぎ	出石温泉 乙女の湯	但東シルク温泉館	たんたん温泉 福寿の湯
建築年	平成12年	平成4年	平成26年	平成17年	平成11年	平成20年
延床面積	1,684㎡	2,021㎡	939㎡	533㎡	1,552㎡	376㎡
利用者数	172,850人	46,480人 ※北前資料展示室等を含めると 185,445人	（25年度は、新築工事中） ※参考26年度 71,788人	108,760人	166,757人	58,696人

9. 温泉施設 (方向性)

・観光的な要素が強い施設であるが、雇用創出や地域振興、市民の豊かな生活を支える側面を重視し、現在の配置・機能を維持
 ただし、集客の増加などが見込めなくなる施設は、機能維持を最優先に市が実施する改修は控え、収支が好転しない場合は民間への譲渡や廃止を検討



10. 産業系施設【農業振興施設】（現状）

- ・農産物の加工のために地域の農業団体等が専用使用している施設や飲食店などで収益性が求められる施設
- ・農家の就業の場を確保し、地域の活性化を図るため、国庫補助などを利用して、地元農産物の加工・販売などを行う11施設を市が整備、所有
- ・ほとんどの施設で維持管理・事業運営にかかる費用の一部を市が負担

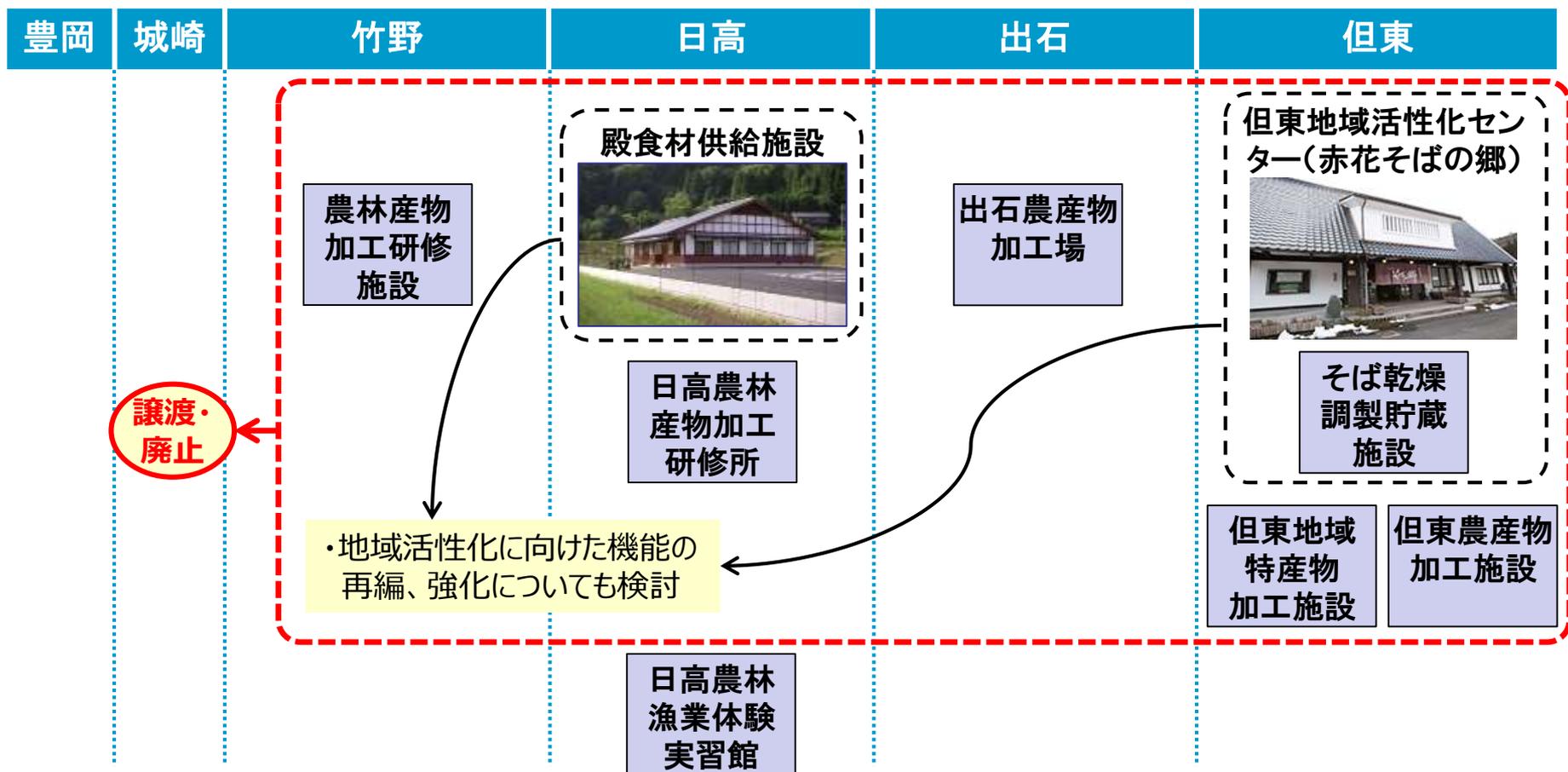
	殿食材供給施設	日高農林漁業体験実習館	日高農林産物加工研修所	出石農産物加工施設	そば乾燥調製貯蔵施設	但東地域活性化センター(赤花そばの郷)	但東地域特産物加工施設	但東農産物加工施設	農林産物加工研修施設
建築年	平成17年	平成5年	昭和63年	平成7年	平成12年	平成3年	昭和60年	平成14年	昭和58年
延床面積	312㎡	892㎡	203㎡	194㎡	300㎡	519㎡	184㎡	191㎡	153㎡
施設構成	貯蔵庫、飲食室ほか	レストランほか	作業室・倉庫ほか	作業室・倉庫ほか	作業室・倉庫ほか	飲食室・そば打ち体験	作業室・倉庫ほか	作業室・倉庫ほか	作業室ほか
利用者数(利用件)	14,090人	47,038人	(121件)	(123件)	—	9,085人	(19件)	—	(140件)

※表中の施設のほか、小規模な施設として片間ふれあい農園(管理棟等)、農産物直売所を所有しています。

10. 産業系施設【農業振興施設】（方向性）

・地域の農業団体等が専用使用している施設であるため、当該団体に譲渡、受け皿が無い場合は廃止

ただし、地域活性化に資する施設にあつては、機能の再編・強化を検討



11. 幼稚園・保育所・認定こども園

- ・幼稚園を16園、保育所を4園、認定こども園を6園所有
- ・「幼稚園・保育所のあり方計画」を基本に、**再編**などを推進

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	
幼稚園	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡 めぐみ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡 ひかり</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">田鶴野</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">三江 廃止済</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五荘 奈佐</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新田</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中筋</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">神美</div> </div> </div>			<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日高</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">三方 廃止済</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">清滝 廃止済</div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">出石</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福住</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">寺坂</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小坂</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小野</div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">廃止</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">廃止</div> </div>	
保育所	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">西</div>		<div style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">森本 へき地</div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">清滝 民営化</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">西気 廃止済</div> </div>			
こども園	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八条</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">港</div> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竹野</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #ffffcc;">移転又は他園との統合を検討</div>		<div style="border: 1px dashed red; padding: 2px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">合橋</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資母</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高橋</div> </div>	

12. その他子育て支援施設【子育てセンター】

- ・子育てについての相談、情報の提供などを行うため、各地域に子育てセンターを設置。竹野子育てセンター以外は庁舎と複合化
- ・単独施設である竹野子育てセンターは、他の施設と比較して規模が大きく、2階部分は貸室となっているが、その稼働率は1%程度
- ・竹野子育てセンターは老朽化が進行（築51年）。耐震診断も未実施であり、大規模改修が必要となった時点で、近隣施設との複合化を検討

近隣施設との複合化のイメージ

竹野健康福祉センター



竹野多目的
屋内運動
広場

移転

竹野認定
こども園

竹野子育てセンター



13. その他再編する施設

(1) 障害者福祉施設、その他福祉施設

- ・「豊岡市障害者福祉計画」に基づき、民間事業者と連携して必要とされる障害福祉サービスの確保するため、3施設を所有
- ・その他の福祉施設として豊岡隣保館と出石隣保館を所有
- ・福祉の観点から機能は維持、ただし、施設が使用不能、維持できなくなった段階で、移転などを検討

(2) 市営住宅

- ・46団地980戸を所有
- ・「豊岡市住宅マスタープラン」や「豊岡市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、安定した公営住宅の供給と維持管理のコストの削減を推進

14. 現在の配置・機能を維持する施設（1）

（1）庁舎・消防施設

- ・豊岡市役所、豊岡市役所立野庁舎、振興局庁舎、常備消防である消防施設（各地域の消防署・分署など）は、災害対策拠点となる施設でもあるため、現在の配置・機能を維持
ただし、日高分署、城崎分署竹野出張所については、庁舎との複合化などを検討

（2）公民館（コミュニティセンター）

- ・地域コミュニティ組織による住民自治の活動拠点としていくため、29ある地区公民館の単位において、現在の配置・機能を維持
- ・五荘地区公民館 大浜分館は、条件が整い次第、地元へ譲渡

（3）図書館

- ・市民の生涯学習の場を提供していくため、現在の配置・機能を維持
- ・良好な図書館サービスを提供するため、業務の一部又は全部委託などを含めた様々な方法を検討

14. 現在の配置・機能を維持する施設（2）

（4）医療施設

- ・無医地区における診療所は、遠方への移動が容易でない高齢者などが安心して暮らすために重要な施設であるため、現在の配置・機能を維持
ただし、医師が不在で休止している但東町歯科診療所については、施設の老朽化も進んでいるため、廃止又は移転による事業の継続を検討

（5）中学校、小学校

- ・「豊岡市学校施設整備計画」に基づき、将来の児童生徒数を踏まえた適切な手法により、効率的・効果的な老朽化対策を実施
- ・長寿命化改修などを実施する際は、近隣の他の施設との複合化を検討
- ・より良い教育環境を確保していくため、保護者や地域住民との協議を推進

（6）放課後児童クラブ

- ・すべての小学校区で放課後児童クラブを確保（ただし、単独施設については、他の施設との複合化を検討）
- ・一定の利用が安定して見込まれる施設については、民営化を検討



本計画に基づく更新費用の試算



1. 更新費用の試算と今後の取組み

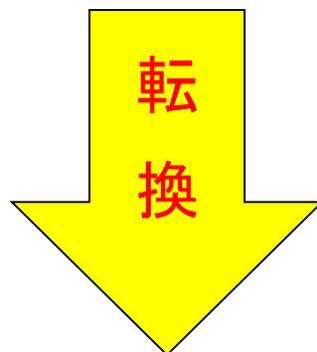
- ・本計画に基づく取組みを着実に推進することで、今後40年間に必要となる公共施設の更新費用は26.5億円/年
- ・公共施設の更新に充当できる経費は21.2億円/年であるため、なお5.3億円/年（26.5億円と21.2億円の差）の不足が生じる状況
- ・5.3億円/年の不足分は、延床面積で約2割に相当するため、建替時における減築などによる延床面積の更なる削減が必要

パターン	条件	1年当たりの更新費用	40年間の更新費用の総額
現状維持	・建替え60年 ・大規模改修30年	45.7億円	1,828億円
長寿命化＋本計画に位置付けた取組みの実施	・建替え80年 ・大規模改修40年	26.5億円	1,059億円

今後の考え方

～次世代に負担を先送りしないために～

「あったほうがいい」



「本当に必要なもの（機能）を賢く使う」

参考 パブリックコメント（意見募集）実施中

（1）公共施設再編計画（案）の公表場所

財政課（本庁舎3階）、各振興局、図書館（各分館を含む）、
各地区公民館 ※休館日等除く
※市のホームページでも公表

（2）意見の提出方法

- 7/27（水）～8/12（金）までに、
- ・お住いの地区名、性別、年齢を記載して、郵便、FAX、電子メールで
財政課へ提出
 - ・様式は任意（意見用紙は市ホームページからダウンロード可）
 - ・送付先：郵便 ⇒ 〒668-8666 豊岡市中央町2-4
FAX ⇒ 24-5932
電子メール ⇒ zaisei@city.toyooka.lg.jp